

# 「令和5年度地域課題解決支援事業」成果報告書

市町村名 東浦町

---

事業名 フリーペーパー「いいだら東浦」制作事業

---

## 1 経緯

令和5年10月28日(土)に本町で開催されるブラアイチ(愛知県建設局河川課と町の共催によるまち歩きイベント)において、県立東浦高校と連携し参加することとなった。東浦高校とはここ数年、青少年教育事業の一環として連携を図ってきたものの、昨年度までは、町主催のイベントにおいて企画・運営に参加してもらう形で連携を取っており、ゼロから高校生主体で企画をする機会がなかったため、支援事業を受けることとした。

## 2 趣旨・目的

青少年教育として、イベントの運営に若者(高校生・大学生)を参加させることで、自ら考え行動する主体性や自主性を育て、他世代との交流・意見交換による協調性や創造力を育成していく。

## 3 手段

町内外から多数の参加者が集まるブラアイチを活用した町の魅力発信。

## 4 概要

ブラアイチ当日が、東浦高校で学校説明会が行われる日と同日であり、当日の参加が少なくても行える魅力発信の手段を検討した結果、パネル展示よりも、持ち帰りが可能で、より多くの人に見ていただけるフリーペーパーを制作することに決定。東浦高校からの参加者は6名であったため、魅力発信の手段をフリーペーパー制作と決定した時点で、町内在住の大学生有志6名を加えて編集委員会とした。東浦町と言えば…とテーマを絞らず意見を出し合い、「人」「自然」「お店」「公共交通機関」にまとめ、グループに分かれて取材・編集等を行い、全8ページの「いいだら東浦」を制作。完成したものをブラアイチ当日、参加者に配布した。

## 5 実施状況・プロセス

令和5年7月～ 複数回にわたり打合せを実施。

テーマを4つに決定してからは、グループに分かれて打ち合わせ。

「人」：東浦町のこれまで、これからを支える人を若者目線で選出

「自然」：東浦町の中心にある於大公園を調査

「公共交通機関」：町運行バスやJRについて調査

「お店」：分野を絞らず、若者目線で選出

令和5年8月 グループに分かれ取材を実施。

取材依頼の電話を掛けることも未経験なため、戸惑うことも多かった。また、取材態度について注意を受けることもあったが、快く取材を引き受けてくださる方が多く、いい経験になった。

令和5年9月 記事の作成及び編集を実施。

当初、写真をできるだけ多く文字は少なめに、と計画していたが、紙面の作成に

入ると、説明がある程度必要ではないか、読み物としての部分もあった方がいいなど変更点もあり、盛りだくさんの内容をどうまとめるか苦勞した。

令和5年10月中旬 フリーペーパー完成。(計2,500部)

令和5年10月28日 ブラアイチにおいてフリーペーパー配布。以降町内公共施設等に設置。

## 6 参加学生スタッフの感想

5ページに掲載

## 7 成果

高校生及び大学生の若者が企画から参加し、自ら考えることや取材先との折衝といった経験を通じて、青少年教育の目的を達成することができたと考えている。また、ファシリテーターを派遣していただいたことにより学生との打ち合わせがスムーズに進み、色々な意見を吸い上げてフリーペーパーを制作することができた。また、印刷費を負担していただいたことにより、2500部という冊数を印刷することができた。

## 8 課題

青少年教育を意識して若者主導での事業展開を進めたが、フリーペーパー制作の経験がなく、編集の詳細な部分(紙面の仕上げ、調整、掲載内容の確認、校正)は行政主導になりがちとなってしまった。また、若者から自発的な意見が出されるには至らなかった。学校行事等もあり、時間の取れない中で分担して作業を行ったが、全員で集まり検討・協議する時間がなかなか取れなかったため、7月の時点で紙面作成の見通しを立て、詳細なスケジュールを組み、共有しておく必要があったと考える。

## 9 今後の展望

今回参加した高校生・大学生については、フリーペーパーを完成させるというプロジェクトチームとして活動することができたため、今後町のイベント等で活躍できる場を与えられるとよい。今後も学生と連携して様々な事業を行っていきたいと考えている。今回のアンケートで参加者全員から「参加して良かった」、半数以上から「同様の事業に是非参加したい」との声があり、本町に関心を持ち、活動してもらえたと考えている。今後も、町主催のイベント等で学生が参加できる機会を設け、町を身近に感じ、主体的に考え、参加できる学生を増やしていきたい。

## 10 職員として取りんだことによる学び・気づき

青少年教育を意識して若者主導での事業展開を進めたが、なかなか自発的な意見が出されるには至らず、青少年が主体性を持って行うという部分の動機づけが難しいと感じた。青少年事業成果が数値では計り難いものであるが、引き続き、各種イベントを通じて青少年教育の推進を図っていききたい。

【 完成品フリーペーパー「いいだら東浦」 】



全8ページ！  
人物・公園・お店・公共交通機関  
いろいろな分野の記事を  
まとめています

【 打ち合わせ・取材の様子 】



【 ブライイチでの配布の様子 】



【 町長への完成報告会の様子 】



※ 日高輝夫町長は、町内の風景写真を組み合わせた表紙を見て「一目で東浦町のことがわかるデザイン」と感心し、「町の良さをこれからもPRしてほしい」と高校生に声をかけました。

【 メディアへの掲載 】

\* 中日新聞知多版 <2023年11月11日(土)掲載>



\* 広報ひがしうら



10月24日(火) 町長にフリーペーパー完成を報告!

東浦高校の生徒と町内在住の大学生、計12名が東浦町の魅力を詰めこんだフリーペーパーを作成しました。その名も「いいだら東浦!」人と自然と食(お店)について地元の若者が企画から取材、編集までを行いました。「いいだら東浦」編集委員会の東浦高校2年生 坂本敏基さんは「東浦の魅力を1冊にまとめると、町内に住んでいても知らないことがたくさんあり、新しい発見がありました。東浦のことを改めて知ることができました」と話していました。

## 【 参加学生スタッフのアンケート結果 】

### 1 学生スタッフとして、この事業に参加した理由。

【高校生】\*生徒会の仕事の一環

\*友だちからの招待

\*案件が回ってきたから

\*学校から話があり、流れて参加しました

\*フリーペーパー作りに関心を持ったから

【大学生】\*友人に誘われたから(3)

\*声をかけていただいた。東浦が好きだから。(2)

\*声をかけられたから。

### 2 事業に参加してみたの感想。

ア 良かった(11)

イ まあまあ良かった

ウ あまり良くなかった

エ 良くなかった

【高校生】\*いろんな人と関わる事が出来た。

\*改めて東浦の特徴を知れてよかった。

\*楽しかった。色々なことが知れた。東浦の良さを知れた。

\*とても楽しかった。参加した人全員が優しく関わりやすかったから。

\*普段経験できないようなことを体験できた。

【大学生】\*東浦の知らなかった所や新しい面を取材などを通じて知ることができた。

\*まだまだ知らない東浦の魅力を知ることができたから。他学年の人たちと関わる  
ことができたのも楽しかった。

\*たくさんの人と関わる事ができ、東浦の魅力をより知ることができた。

\*良い経験になった。

\*インタビューをしに行くという経験をしたことがなかったから、いい経験ができたから。

### 3 今後同様の事業があった場合の参加意向。

ア ぜひ参加したい(6)

イ 参加したい(1)

ウ 参加してもよい(4)

エ 参加したくない

【高校生】\*顔が広いとメリットが大きいから。

\*また東浦や他の地方を知りたいです。

\*楽しかったが忙しかった。

\*今回のフリーペーパー作りが楽しく、また作りたと思ったから。

\*色々なことを経験したい。人と関わり何かを成し遂げることができ良かった。

【大学生】\*ボランティアはあまり参加してこなかったけど、やってみたら案外楽しかった。

\*ボランティアをあまりやらないが、今回参加して楽しいと感じたから。

\*今回、パンフレットの完成版を見た際に感動し、次回があれば同じように感動を  
味わいたい。

\*楽しいから。(2)

\*なかなか忙しい